



女神は再び贖となる…
エロトラップダンジョン系
絶望凌辱CG集！



ETDクエスト 女神凌辱

M.I.P

ETDクエスト これまでのあらすじ

惑星航行船団「オラクル」内の戦闘組織アークスは先文明人フォトナーとの戦争状態にあった。
アークス最強の称号「守護輝士」を持つ少女マトイは、敵旗艦への単独潜入という不可解な任務を与えられ、結果的に捕虜となってしまう。(ETDクエスト 旗艦潜入)

マトイを慕うアークス情報部次席クーナは彼女が囚われた事を知り、既に任を解かれていた暗殺専任の特殊工作員、通称「始末屋」の兵装と、科学を超越した超常兵器「創世器」の一つで自身の存在を喰う事であらゆる感知を無効化する「透刃マイ」を再び手に取りマトイの救出に向かうが、フォトナーの首魁「^{ついで}終の女神シバ」と洗脳されていたマトイに倒され彼女もまた囚われの身となった。(ETDクエスト 守護輝士救出)

それから数週間後、事態は新たな局面に移ろうとしていた。

ETDクエスト 登場人物

フォトナー

遙か昔に滅びた先進文明の民。シバの意思に従い宇宙の生命全てを滅ぼそうと目論む。



^{ついで}終の女神シバ

全知存在の変異体「深遠なる闇」がフォトナーが器として作った肉体に入り込み、人の形となった存在。



義の男神ヴァルナ

シバに仕える側近の一人。元々は器を補佐する為に生まれたが器はシバとなり、それでも主と崇めて仕えている。



偽の女神ミトラ

シバに仕える側近の一人。ヴァルナと同じ経緯で生まれた存在。過去の戦いで負傷、形を維持出来なくなり、一旦光子となって戦線離脱したが…。

アークス

惑星航行船団オラクルの戦闘組織。宇宙の生命を脅かすものと戦っている。



マトイ

アークス最強の戦士「守護輝士」。単独でフォトナー旗艦に潜入するが罠に倒れ囚われた。



クーナ

暗殺専任の特殊工作員だったが創世器の使い過ぎで「存在する力」が希薄になっており、現在は後方任務。マトイを救出する為に再度暗殺者としてフォトナー艦に潜入、シバに敗れ囚われる。



シャオ

アークスを率いる少年。全治存在と呼ばれるものによってアークスを補佐する為に造られた分身。一度シバに倒されたが新たな力と姿を得て復活した。



カリン

アークスのVR訓練施設の技術士官。様々なもののデータを取り、VRで再現する事に関しては凄まじい才能を持っているが、人格は破綻している。



カスラ

アークス情報部司令。

※作者の解釈や想像を元にして膨らませた内容である為、原作との齟齬があることを予め了承した上でお読み進め下さい。

フォトナー

内輪揉め、和風、現代地球、異世界と迷走を重ね「いいからSFをやれ」と言われ続けて
最終エピソードでやっと登場した初のSFっぽい敵。フォトナーを名乗ってるが純粋なフォトナーはいない。



つい
終の女神シバ様

PSO最かわヒロイン兼ラスボス。
とても可愛い代わりにとてもおつむが弱い。
口を開く度に方針や意見がコロコロ変わり
最後はよくわからない理由でパワーアップ
したアークスに雑に処理された。可愛い。



義の男神ヴァルナ

たとえ何と言われようと！みたいな事を
言っただけでシバ様の忠臣ぶっていたが
ラストで華麗過ぎる裏切りを決めた
自称義の男。イケメンなので許された。
声が鬼滅。



偽の女神ミトラ

モノマネ名人だが例に漏れず頭が弱い。
「ちょっと離脱するわ」みたいな言い方して
実際は退場だったので、ストーリー勢を少し困惑させた。
ストーリー中でシバ様を呼んだ事が一度もないので
マンガみたいに主と本当に呼ぶのかは不明。

アークス

数個の惑星をローテーションしてひたすら戦闘に明け暮れている野蛮な戦闘集団。
遺伝子を弄りクローンを日常的に生み出すなど、明らかに敵寄りの倫理観を持つ。



マトイ

ストーリーの通してのヒロイン。
でもEP1まではモブ扱いだった。
アヒルの子供みたいに
刷り込みで伴侶を決めるという
恐ろしい習性を持つ痴女。



クーナ

暗殺者アイドル実験体二重人格と
詰め込みすぎて消化不良を起こした
哀れな存在。単純に青が本性で良いでしょ。
EP1ではヒロイン的扱いだがEP6ラストの
ヒロイン集合では普通にハブられた。



シャオ

唐突に仲間に加わったが万能すぎて
扱いにくいのか、タイミング良く
閉じこもったり死んだりする。
EP6でエキセントリックな変貌を遂げ
皆を爆笑と困惑の二重螺旋へ誘った。



カリン

僕は大好きです。



カスラ

なんか悪い奴っぽいけど良い奴っぽい
と思わせて結局唯のモブだった、という
このゲームに大量に存在する役の一人。
サブエでは中身がない事しか
言わない。

※作者の解釈や想像を元にして膨らませた内容である為、原作との齟齬が
あることを予め了承した上でお読み進め下さい。

あれから数週間後…

流石に3日間続けて貴女達のお相手をするのは少々疲れました…。暫く2人で楽しんでいなさい。

はあ♡



主。お疲れでしょう。お召し物を



おや、気を利かせてしまったすみませんね。ヴァルナ。



恐悦の極みです、主。しかし早急にお耳に入れなければならぬ事がございまして。詳しくは玉座で。



実は…ミトラが彼奴等に囚われている事がわかりました。

これから休もうと思っていたところなのでここで構いませんよ。



…ミトラが？

本人も「当分動けない」と言っていた通り
随分復活が遅いとは思っていましたが：
彼等がそんな芸当をこなす程に
力をつけていたとは…誤算でしたね

恐らく、再生した全治存在の残滓の仕業かと
即ち、彼奴等の阻止に失敗した私の責任で
ある事は疑いもありません

如何なる罰であっても喜んでお受けします
しかしその前に汚名を注ぐ機会を頂きたく
参じた次第です…

その必要はありませんよ
丁度私も彼等と話がしたかったところです

…と言いますよ？

人質解放の「交渉」をしに行くのであれば
最も地位の高い者がその席に立つのが筋と
言うものでしょう
貴方は留守をお願いします

…しかし。それでは！

貴方に指示を出したのは私
であれば、その責任の所在も明らかと言つもの
くれぐれもよろしくお願いしますよ

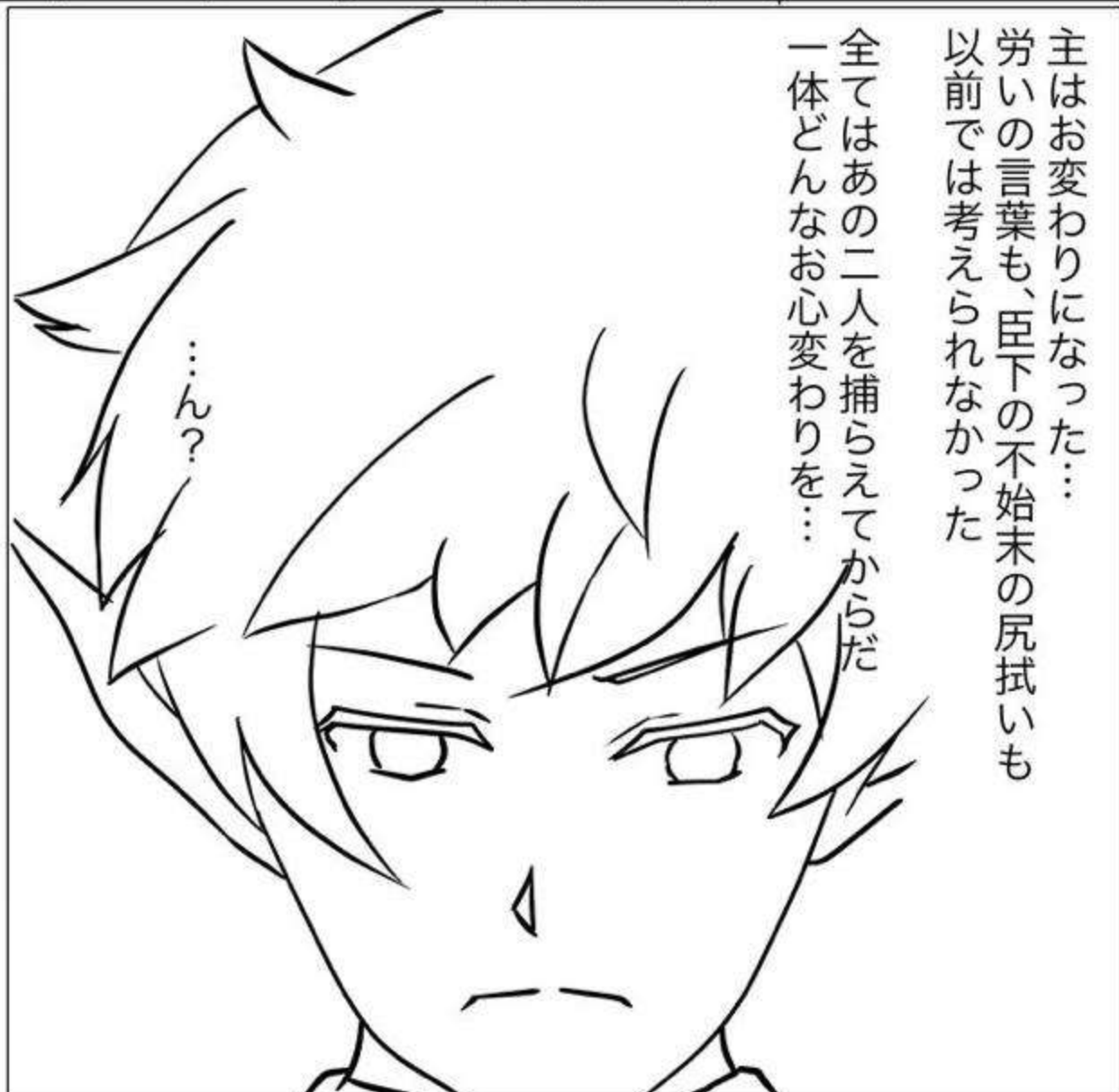
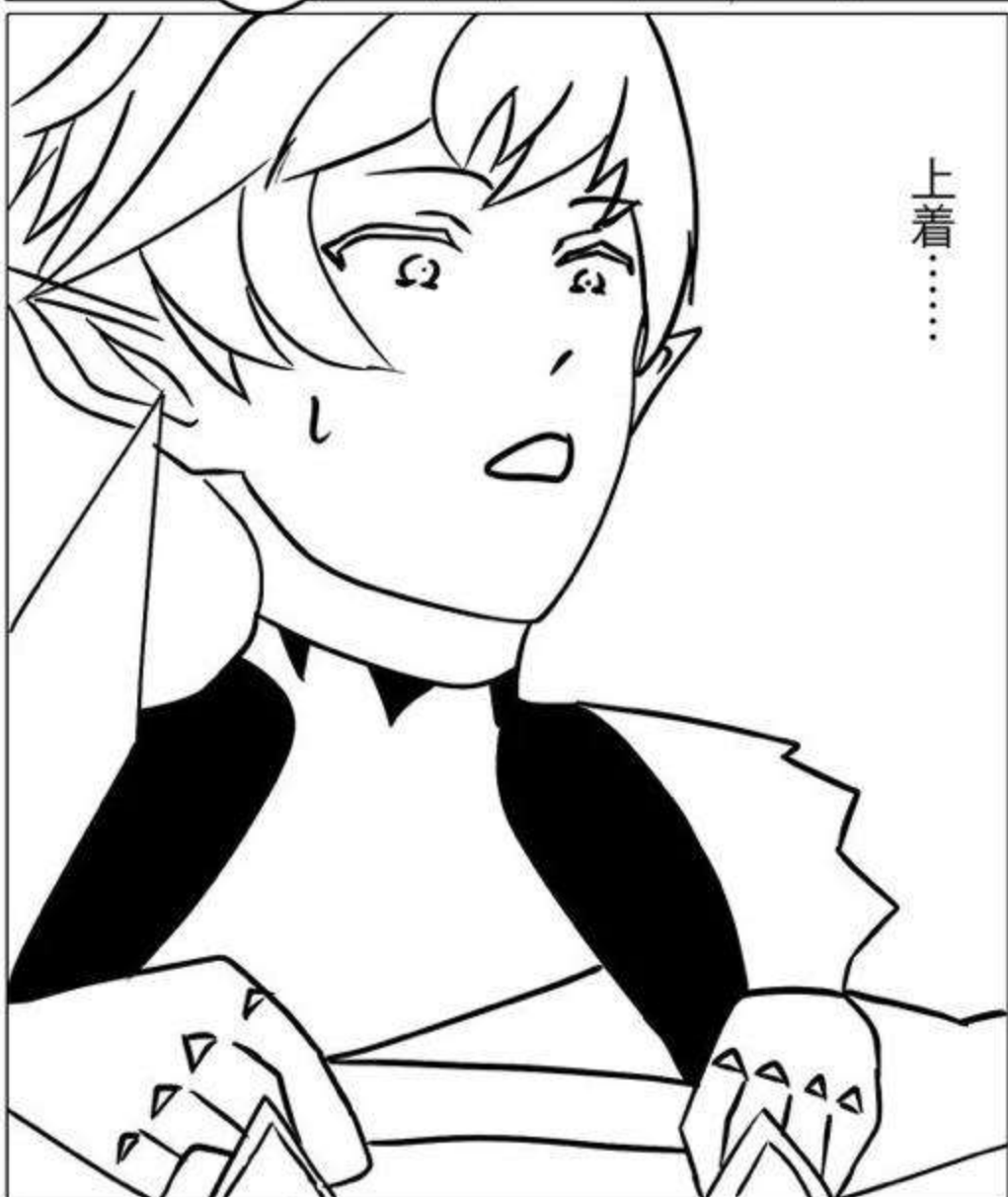
…御意。

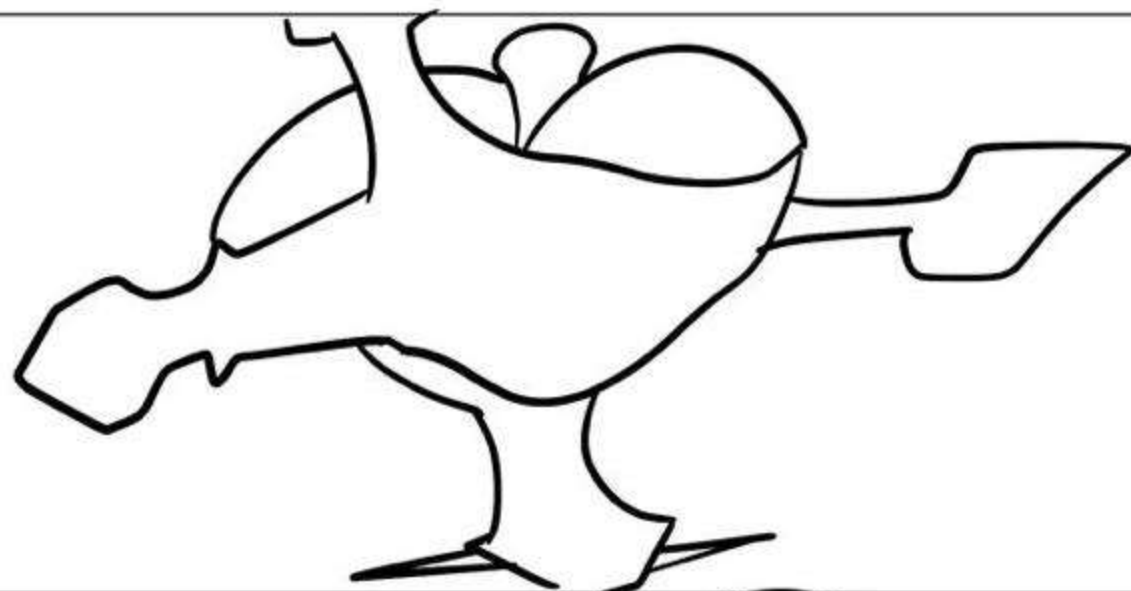
主はお変わりになった…
劳いの言葉も、臣下の不始末の尻拭いも
以前では考えられなかった

全てはあの二人を捕らえてからだ
一体どんなお心変わりを…

…ん？

上着…





敵襲！シバです！
艦内全域を防衛体制へ！

EMA
GEN

やれやれ…
今日は穩便に話し合いを、と
事前に文を送った筈ですが…
これは正当防衛ですよ？

ぐぐっ…素晴らしく運が良いな、君は…
今日こそ、君の最期…

ようこそ終の女神シバ
二度目のご来訪とは
そんなにこのアークスシップを
気に入ってくれたのかな

おや、こんにちは
新たな力を得てから随分と
ご機嫌なようで何よりです

実は先日お世話になった私の臣下が
そのままこちらにお邪魔していると
伺ったもので…

おもてなし頂いてるのは
何よりですが、こちらも手が足りず…
そろそろまた仕事に戻って
もらおうと思ひまして

もう勘づかれていたのか…だが
その為になんぞわざわざ首魁である
君自ら出向いてくるとはね
少し誤算だが、むしろ僥倖だよ

生憎だけど、彼女はまだ
帰りがたがらなくてね。
本人の声も聞いてみると良い。
シエラ。

了解です。シヤオ。

待ー
やっ
おー
♡

……ミトラ

この件については後日こちらから
連絡させて貰おうと思っただけだね
やはりフォトナーの技術力は恐ろしい
いつか僕らも辿り着きたいものだ

無事にミトラをお返ししてくれば
技術交流もやぶさかではありませんよ？
勿論、お互いのこれまでとこれからの事を
解決してからになります

それは嬉しい申し出だね
是非検討させてもらおうよ

だが、ようやく得たアドバンテージを
むざむざと手放すつもりはない
ただでさえこちらは守護輝士…
最大の戦力を奪われているからね

君たちに対抗する為に
今もミトラ君から様々な事を
教えてもらっていたんだよ

その甲斐あって
君たちフォトナーの絶対防衛機構
ETD艦を超える究極のVR兵器が
完成したところさ

…ほう…あなた方が
我らのETD艦を越える？
面白い冗談ですね

ん…こいつら…
誰と喋って…



ひょっとしてヴァルナが助けに来て…

え!?



嘘…何で主が?
ヴァルナは何して…!

それに、こいつらの作った
防衛機構は…



ダメ…来ちゃ…



ん…ダメですよ、折角のお客さんを
遠ざけるような事言っちゃ〜
あ、もうこっちの声は繋がってないんだっけ?



まいっかあ☆
ご主人様が入場するまで、しばらく
気持ちよくなつててくださいねえ〜

つまり…私があなた方の作り上げた
防衛機構デスタの実験台になれば良いと?

そうさ 僕たちが君達の技術力を既に超えた事…
それを見極めてくれたら彼女は解放しよう



簡単だろう？
先程言っていた技術交流の
まずは触りだと思えばね。



シャオさん。
こんな申し出を彼女が
受けるとは思えません。
やはりここは本来のプランで…

良いでしょう。
言う通りにしますよ。

初めに申し上げた通り
今日は穏便な話し合いに来たのですよ

先程の通信と、この船から感じるミトラの
力で位置も予測がつかまりましたし
今ここで皆さんを滅するなど造作もない事
しかしそんなつもりは毛頭ないのです

私が少々お付き合いする事でお互い血を流す事なく
こちらの大切な臣下も無事に戻るのであれば
それは交渉として十分な成果です

早速そのVR兵器の元にご案内頂けますか？

マトイさんをあんな目に
あわせておいてなんて白々しい…！
一体何を企んで…

シエラ、ナビゲートを。

…了解です、シャオ

嬉しいよ、シバ
それでは案内しよう
僕らの創り上げた最高傑作
「エクストリームETDクエスト」へ





白々しい…もったもな意見です
彼女達にはあのような仕打ちを
しておいて、自分は臣下の為
身を捧げようと言うのですから

まあ…むざむざと屈服する
つもりは毛頭ない…
彼等の気が済むまで付き合っ
てあげた後で改めて交渉を申し出
ると言うのも良いでしょう



ヴァルナには甘いと
咎められるでしょうが…フフフ

ようこそエクストリームETDクエストへ☆
ナビゲーターをやらせてもらうカリンですう☆

それはご丁寧に
どうぞよしなに

ルールは簡単♪
ステージごとのお題をクリアしたら
レポーターに乗って次のステージに
進むだけ☆

あ、そうそう
今回シバさんはテスターなので
罫には全て掛かって
効果を確かめてから抜けて下さい
失敗したらペナルティですよ♪

わかりました

それでは、ミッションスタート☆

第一ステージ開始と同時に
目の前のエネミーの攻撃に
5分間耐える事を要求された
シバ。

それに応じて一切の
抵抗をせず、エネミーの放った
蔓に体の自由を奪われた…。

わざわざ動きを封じなければ
私に手を出す事も出来ない？
：図体の割に随分と小胆ですね

我が創造の失敗は
新たなる創造で取り戻す

：話も出来ないデクでしたか
下らない
早く終わらせなさい

ステージオーダー「5分間攻撃に耐えろ！」

System
クエスト目標
5つのステージを
制覇せよ！
第一ステージ開始！

Lv: 100
シバ
HP: 11000000 / 11000000
PP: 999 / 999

数本の蔓がシバの下半身に近づき、下着の上から秘裂を無機質に弄り始めた。

しかしシバは何かを感じる素振りすら見せず、ただじっと時が過ぎるのを待っている…。

本当に下らない…

System
クエスト目標
5つのステージを
制覇せよ！
第一ステージ開始！

Lv: 100

シバ

HP: 10999999 / 11000000

PP: 999 / 999

不意に蔓達の責めが止んだ…。同時にガスが室内に充滿した。それを吸い込むや否や、シバの体の芯を快美な熱が駆け巡り頭と胸の中に、官能の痺れが突き上がっていく…！

おおっ！対シバ用の装置が作動しましたね！全アークスと全調査惑星の生物を色狂いにしてもお釣りの来る、超高濃度の媚毒ガスですよ♪

!?

System
クエスト目標
5つのステージを
制覇せよ！
第一ステージ開始！
時間経過で媚毒ガス
発生！状態異常
「アフロディジャック」
を強制付与！

Lv: 100 
シバ
HP: 10999999 / 11000000
PP: 999 / 999

ナビゲーターの言葉には本来他者が知るはずのない自分の情報が含まれていた。だが、制御不能の淫らな衝動に頭を掻き回され、正気を保つだけで精一杯のシバは、その疑問に考えを巡らせる余力すら持ち得なかった…

この施設に五感を預けてる以上耐えようとしても無駄ですよ！
ま、「その形」を捨てたら影響から逃れられるかもですがそしたら貴女も終わっちゃういますもんねえ☆色んな意味で♪

この毒は一体…
何故…この私が
るくに抵抗も出来ない…！

System
クエスト目標
5つのステージを
制覇せよ！
第一ステージ開始！
時間経過で媚毒ガス
発生！状態異常
「アフロディジャック」
を強制付与！

Lv: 100



シバ



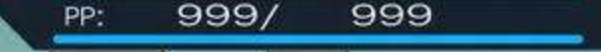
HP: 10999999 / 11000000

PP: 999 / 999

しゅんっ♡♡

頃合いとばかりに
蔓が再びシバの秘所に這い回り
蹂躞を開始した。
極限まで昂らされた躰では
先程の様には堪えられない…。
肉芽と秘唇を捏ねくり回され
シバは心地良さをうなづき声と
淫らな水音を辺りに響かせる…

System
クエスト目標
5つのステージを
制覇せよ！
第一ステージ開始！
時間経過で媚毒ガス
発生！状態異常
「アフロディジャック」
を強制付与！

Lv: 100 
シバ
 HP: 10999999 / 11000000
 PP: 999 / 999

シバがエクスタシーを迎えると
その感度が最高潮となった時を
狙いすましていたかの様に
新たな蔓が秘腔に侵入した。
ガスで昂った躰は冷めておらず
主人の意思と裏腹に悦楽を
享受し、再び絶頂へ押し上げた。
シバは何とか時間切れまで
耐え抜くも、1分の間に膣で
5回もイカされてしまった…。

シバは絶頂した！
300000ダメージ！
シバは絶頂した！
200000ダメージ！
シバは絶頂した！
180000ダメージ！
シバは絶頂した！
120000ダメージ！



ひあぁあぁあぁ♡♡♡♡♡

も…め♡♡♡♡♡

♡♡♡♡♡

じゅぽぽぽぽぽ
ちゅぽぽぽぽぽ
じゅぽぽぽぽぽ

Lv: 100 ♡
シバ
HP: 9600000 / 11000000
PP: 999 / 999

この程度ですか？
以前「フォトンを持たないから私に対抗出来る」などと
思い上がった者がいましたが
貴女も同類だったようですね

確かに…
力では敵いませんでしたが…
この勝負は…私の勝ちです

その体で今更
何かできるとでも？
今なら命までは奪いませんから
早く道を開けなさい。

第二ステージはかつて出会った
辺境惑星の強者との
一対一の戦闘だった。

確かにフォトンを操らない生物
としては破格の戦闘能力だが
純粋な力においてもシバには
及ばず、攻撃パターンも
数種類の近接攻撃のみ…。

終の女神の相手は全く務まらず
勝負は決したかに見えた。

ステージオーダー「ファレグを倒せ！」

第二ステージ開始!

Lv: 100

シバ

HP: 9600000 / 11000000

PP: 999 / 999

カリンさん、今です……

了解♪
ハイパートラップタイム…
スタート☆

…?

ファレグが指を差して
指示めいた言葉を発すると
シバが立っている床の周辺が
妖しく輝いた。

彼等の技術力で何を作ろうと
どうせ自分を傷つけるには
至らない…そう思っ
大した警戒をせずに
意識を地面に向けたその直後…

第二ステージ開始!

Lv: 100

シバ

HP: 9600000 / 11000000

PP: 999 / 999

光が強くなると共に
覚えのある感覚がシバの全身を
貫いた。

美しい瞳が焦点を失い
ゆらゆらと彷徨う。体中が熱を帯び
唐突な絶頂感によってインナーに
愛液の染みが滲む。催淫トラップの
無慈悲な快楽に少しも耐えられず
シバは意識を手放してしまふ…。

無様に気を失った彼女の姿を一瞥し
満足げな表情でフレグも
崩れ落ちた。



第二ステージ開始!
催淫ダメージ床に
接触!
クエスト中永続する
アフロディシアック
Lv2を強制付与!
シバは絶頂した!
300000ダメージ!

Lv: 100 ♡♡
シバ
HP: 9300000 / 11000000
PP: 999 / 999

シバの意識が回復すると
異様な空間が眼前に広がった。

催淫ガスが充満した視界に
嫌悪感を感じると共に
自分の体が粘着性の強い何かに
拘束されている事に気が付いた…。


…んんんは一体…

おはようございます☆
第三ステージはゼリーちゃんから
うまく逃げるのが課題ですよー！
っていつても、スヤスヤ寝てたから
雑に放り込んだじゃいましたけどね♪

……ッ！
この程度、すぐに…

ステージオーダー「アークスマッドゼリーから脱出せよ！」

第三ステージ開始!

Lv: 100 
シバ
HP: 9300000 / 11000000
PP: 999 / 999

力を入れ躰に纏わりつくものを
なぎ払おうとした刹那、アヌスに
侵入してくる異物の感触が
全身に響いた。
意識していなかった種類の感覚に
今まで出したことのない
悲鳴をあげてしまう。



第三ステージ開始!

Lv: 100

シバ

HP: 9300000 / 11000000

PP: 999 / 999


シバに心を落ち着ける暇も与えず
マッドゼリーが抽挿を開始する。
繊細な粘膜を満遍なく刺激され
霞もない声をあげさせられる。
全身に回る媚毒によって快楽器官へ
変貌させられたアヌスは、翻られる
度に不可解な悦楽を伝えてくる…！

あぐっ
あぐっ
あぐっ

ひ
あぐっ
あぐっ

あぐっ

第三ステージ開始!

Lv: 100 
シバ
HP: 9300000 / 11000000
PP: 999 / 999

直腸の粘膜で快感を得る事を重ね
灼けつく様な疼きの果て
消え入りそうな喘ぎと共にシバは
初めてアヌスで果てた。
妖しい愉悦がゾクゾクと吹き出し
背徳感の交ざった異様な絶頂感を
味あわされる…。



第三ステージ開始!
シバは絶頂した!
300000ダメージ!

Lv: 100

シバ

HP: 9000000 / 11000000

PP: 999 / 999

意思のない単細胞生物故か、シバが何度昇り詰めようとお構い無しに責め続ける。シバは脱出もできず快樂地獄に囚われ続けた…。アークスマッドゼリーが満足して解放されるまでに14回もイカされ再び気を失ってしまうのだった。



シバは絶頂した!
70000ダメージ!

シバは絶頂した!
90000ダメージ!

シバは絶頂した!
80000ダメージ!

シバは絶頂した!
85000ダメージ!

シバは絶頂した!
100000ダメージ!

Lv: 100 ♡♡

シバ


HP: 8000000 / 11000000

PP: 999 / 999

シバが次に意識を取り戻した場所は
簡素なベッドの上だった。眼前では
見知らぬ男が何かを行なっている。
体の奥底から湧き上がる高揚と
下腹部を這い回る感触に戸惑いつつ
状況を把握しようとする。……！

おや、お目覚めですか？
まだ施術中なので
リラックスして下さいね

ふぁ……んん……せ……

Lv: 100 

シバ

HP: 7000000 / 11000000

PP: 999 / 999

アフロディジアック
のレベルが増加!

シバは絶頂した!
60000ダメージ!

シバは絶頂した!
20000ダメージ!

シバは絶頂した!
50000ダメージ!

シバは絶頂した!
30000ダメージ!



下腹部に目を向けると、男の手が自分の秘部をまさぐっている。

思わず声を荒げ制止するが、男はいやらしい笑みを浮かべて手を動かかし始める…！

なっ…！！
何処を触っているのです！
塵に等しきアークス風情が！
すぐにその手を離しなさい！

塵なんてひどいなあ
私は知り合いの医者に
頼まれて来た整体師ですよ

血の気が多い患者を
脱力させてくれって
頼まれてね…貴女もさっきから
気持ち良くなってたでしょ？

ステージオーダー変更！「整体アークスの攻撃に耐えろ！」

アフロディジャック
のレベルが増加!

シバは絶頂した!
60000ダメージ!

シバは絶頂した!
20000ダメージ!

シバは絶頂した!
50000ダメージ!

シバは絶頂した!
30000ダメージ!

Lv: 100



シバ




HP: 7000000 / 11000000

PP: 999 / 999

何とか意識を保つシバに
下品な侮蔑の言葉が浴びせられる。
今すぐ振り払いたいが、体が全く
言うことを聞かない…。
気を失っている間、先刻と同じ様に
何度もイカされていたのだと理解した…。
まだ秘裂に触れる指を意識しただけで
達しそうになっている自分の躰を呪った。

ハハハッ！何が終の女神だよ！
いくたびに感度が増して
堪えられなくなってる癖によ！
この雑魚マンコが！

シバは絶頂した！
60000ダメージ！
シバは絶頂した！
20000ダメージ！
シバは絶頂した！
50000ダメージ！
シバは絶頂した！
30000ダメージ！
シバは絶頂した！
90000ダメージ！

Lv: 100 
シバ
 HP: 6910000 / 11000000
 PP: 999 / 999

男の指がまた蠢き始め、秘口の外と中の急所を激しく責めたてる。

媚肉を擦り上げる指によって牝蜜が激しく音を立てる。荒々しい抽挿と裏腹に甘美な愉悅がシバの脳髓を溶かし、秘裂から何度も飛沫を放たせる。シバが25回もの絶頂を迎えた後、男は「次のメニュー」へ移ることを宣言した…。

もうちょっとほぐしたら奥のマッサージに入りますからね…それまで壊れんなよ？

やっ♡

ん♡♡♡

ああ♡♡♡

Lv: 100 ♡♡♡
 シバ
 HP: 6610000 / 11000000
 PP: 999 / 999

シバは絶頂した！
 90000ダメージ！
 シバは絶頂した！
 50000ダメージ！
 シバは絶頂した！
 60000ダメージ！
 シバは絶頂した！
 70000ダメージ！
 シバは絶頂した！
 120000ダメージ！



最後のメニュー…

子宮マッサージと称した只の交尾を拒絶する術はシバになく、羞恥と快楽で涙を流しながら男の剛直を迎えていた。だが男の卓越した技術は肉棒でも遺憾無く発揮される。肉襞を擦り上げ弱い所を責め尽くす的確な動きはシバをかつてない肉悦の天国に誘う。

いやー、良いよシバちゃん
凄く犯し甲斐のある良い肉してる
さすが終の女神って言うだけあるよ
俺もすぐ終わっちゃうぞっ

ッあ

あん♡

シバは絶頂した!
90000ダメージ!

シバは絶頂した!
50000ダメージ!

シバは絶頂した!
60000ダメージ!

シバは絶頂した!
70000ダメージ!

シバは絶頂した!
120000ダメージ!

Lv: 100 ♡♡♡

シバ

HP: 6610000 / 11000000


PP: 999 / 999

男は自分が満足すれば用済みとばかりにシバを強制転送した。転送されたフロアで待ち構えていた巨大なガムアネモネにあっさりと釣り上げられてしまう。そのまま身を無理やり開かされ同時に両方の隠腔を貫かれてしまった…。



ステージオーダー「アークスガムアネモネの猛攻に耐えろ！」



Lv: 100 

シバ


HP: 5010000 / 11000000

PP: 999 / 999

第四ステージ開始!

二つの粘膜を貫く触手は軟体故か彼女の内部を傷付けないギリギリのサイズに自然と圧縮されながらも纏った粘液を活かし激しく肉壁を擦り上げる。
暴力的な刺激は甘い電流となって身を駆け巡り、儂げな呻きと大量の秘蜜を放たせた。

第四ステージ開始！
シバは絶頂した！
160000ダメージ！

Lv: 100 
シバ
HP: 4850000 / 11000000
PP: 999 / 999

終の女神はいつの間にか、ひと突き毎に悦びの跳潮を噴き出す悦楽のオブジェと化していた。肉悦で真っ赤に染め上げられた顔は汗と涙にまみれ瞳は虚空を見つめている。
アークスガムアネモネが活動限界を迎え、シバが解放されるまでに受けた肉感の総量は、絶頂として数えるなら34回にも上った。

あ……ふ……ふ……♡

ふん♡ふん♡ふん♡

♡……♡

ニホッ♡ 19キョ♡ フキッ♡ ぐゅ♡♡

130
131
132
133
134
135
136
137
138
139
140

ニホッ♡

シバは絶頂した！
80000ダメージ！
シバは絶頂した！
70000ダメージ！
シバは絶頂した！
60000ダメージ！
シバは絶頂した！
120000ダメージ！
シバは絶頂した！
90000ダメージ！

Lv: 100 ♡♡♡
シバ
HP: 3000000 / 11000000
PP: 999 / 999

度重なる陵辱に体力を奪われ
フロアの横に力なく横たわるシバに
聞き覚えのある声が語りかける。

おやおやー？
流石に疲れちゃいました？
次は貴女の得意分野、アークスとの
バトルですから、頑張れる様に
ゆっくり休んで下さいね♪

あ、そうそう！
我々の作ったレプリカですけど
貴女のいつもの服を用意しましたから
是非使って下さいね☆
そんな格好で戦うのはいくら何でも
恥ずかしいでしょ？

暫くして、ある程度体力が戻ると
シバは近くに置かれていた服を纏い
何フロアかぶりに自らの足で
次の階層へと踏み出した。

ステージオーダー！「アークスを撃破せよ！」



迎り着いたフロアには見た事も無い
3人のアークスが待ち構えていた。
大した力も感じない有象無象を直ぐに
払い除けようと攻撃を仕掛ける…が
体が重く、力も思う様に震えない。
戸惑っているうちに集中攻撃を浴び
返り討ちにされてしまった。


かーっ！弱え！
これが何人もアークスを殺ってきた
フォトナーの首領かよ！しよせん
俺様の敵じゃなかったって事よ！

やりましたね！
でも大した事ない敵でしたね

どうせやられた奴らも
大したレベルじゃなかったんだらうぜ
なんせ俺たちは「エキスパート」だからな

あ…う……

シバに70000の
ダメージ！
シバに80000の
ダメージ！
シバに50000の
ダメージ！
シバに30000の
ダメージ！
ダメージが蓄積し
ダウンしてしまった。

Lv: 100 

シバ

HP: 2000000 / 11000000

PP: 999 / 999

渡された服はシバの能力を大幅に制限する拘束具だった。

これから、本来なら歯牙にもかけない雑兵に良い様に罵られる。

筆舌に尽くし難い屈辱に顔を歪ませ己の運命に戦慄した…。

反抗的な目しやがって…
負けた女の末路がどうなるか
てめーはよくわかってるよな？

僕のクーナさんやマトイさんも
貴女にやられたんです！
その分はきっちり返してもらいますよ！

クーナってのは知らないけど
いつから守護輝士がお前のもの
なってたんだよ
ま、お仕置きには賛成だけどな！

くっ…！

シバに70000のダメージ！
シバに80000のダメージ！
シバに50000のダメージ！
シバに30000のダメージ！
ダメージが蓄積しダウンしてしまった。

Lv: 100



シバ

HP: 2000000 / 11000000

PP: 999 / 999

シバに70000のダメージ!
シバに80000のダメージ!
シバに50000のダメージ!
シバに30000のダメージ!
ダメージが蓄積しダウンしてしまった。

あむ…う

ちよっと!
何なんですか!その舌使いは!
そんなのじゃ全然感じませんよ!
まさかフェラした事ないんですか!?

ギャハハ!
モノ唾え込み過ぎて舌が
動かせなくなってるのか!
素人過ぎんだろ!
偉そうにしてた癖に使えねー女だな!

あんまり虐めてやるなよ
よく知らないけど女神様なんだろ?
自分が奉仕するのは初めてなのかもな
ま、これからたっぷり仕込んでやるけどな!

う、うう…っ!

男達はシバの上体を起き上がらせると
そそり立った男根を眼前に近づけて
口淫を強制する。

抵抗する力を奪われ人質も取られている
シバに選択の余地はなく、恐る恐る
口での奉仕を始めるが、不慣れ故に
男を満足させられず、下卑た罵声を
浴びせられる。

自分のあまりの無力さ、情けなさに
思わず涙がこぼれていた。

Lv: 100



シバ

HP: 2000000 / 11000000

PP: 999 / 999

あっ…あっ…!

いい…!
きもひいい…れす…!

まだ先っぽだけだろうが！
うるせえんだよメス豚が！
これから奥突いてやるから
それからたっぷり泣けや！


ちよっと！
さっきからあなたばっかり
入れてるじゃないですか！
いい加減代わって下さいよ！

すっかり女神様は肉便器だな
全く、最初の威勢はどこに行っただらうなあ
ま、そろそろ次に連れてく時間だから
それやったら終わりにしておけよ

終わり！？
僕はまだ2回しか
中出ししてないのに！？
何なんですか！

数時間後…シバは3人のアークスに
代わる代わる犯され続けていた。
これまでの畏で掛けられた媚毒の効果が
重なり、男達の凡庸な行為でも今までの
淫獄と同レベルの快楽を受悅してしまう。
媚肉を貪られるたびに声を上げて
腰を振り、潮を拭いてのたうつ敗北の女神。
その乱れ様に気を良くした男達にひたすら
蹂躪され、50回もイカされた挙句
最後のフロアへと連行されてしまうのだった…。

アフロディジャック
のレベルが増加!
シバに40000の
ダメージ!
シバに60000の
ダメージ!
シバに70000の
ダメージ!
シバに50000の
ダメージ!

Lv: 100 
 シバ
 HP: 500000 / 11000000
 PP: 999 / 999

最終フロア：異様な空間で何者かに魅を弄ばれ続けるシバ。全身を強く固定する異形の手と自分と瓜二つの少々の美しい指先が秘部に伸びる。時には秘裂をなぞって淫豆を愛撫し、時にはヴァギナの奥深くへと潜り込み、膣内を掻き回す。媚肉を穿たれる度底無しの快楽に飲み込まれ浅ましく声を絞り出してしまふ。


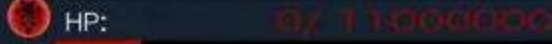
どうですか、シバ…
貴女を縛り、畏れさせるものはもう貴女の中には居ません…

これからは一人の女として存分に悦びを味わっていい良いですよ

ハリエツト。

深遠の闇を制御する人格として生まれたシバの肉体の本来の魂。それがなぜ自分の中に潜む原初の闇と同化しているのか。この空間が仮想なら自分しか知り得ない原初の闇の存在と性質を知る者がなぜアークスに居るのか。だが、それらの疑問の答えが出ることはない。絶え間ないエクスタシーの無限回廊は肉悦に震え、恍惚に身悶え、歓喜の声をあげる以外の事を許さないのだから。

アフロディジャックのレベルが増加!
シバに1200000のダメージ!
シバに2500000のダメージ!
シバに4700000のダメージ!
シバに8000000のダメージ!

Lv: 100 
シバ
HP:  0/1000000
PP: 0/999



クエスト失敗！

はい！
封印成功！
あとはあの施設ごと宇宙の彼方に飛ばすだけ！
クロウリィ！
いやー、素晴らしいデータが取れました☆

ありがとう、カリン
ここまで完璧に成功するとは
やはりさすがと言うべきだね
これで宇宙は救われる

しかし、何故ハリエツトさんは
彼女を縛る事が出来たのですか？
それにあの異形の手は…

あれはシバさんの親みたいなものですよ♪
彼女が死ぬか消えるかしたら、アレが吹き出して
その次元で最も力の強い存在に乗り換えるんです
もし現実でそうになったら、守護輝士のどっちかに
行くでしょうけど、もう2人ともいませんから☆

なので、元々アレを取り込む予定だった
ハリエツトさんに体…もとい魂を張って貰って
仮想の同一存在を取り込んでもらって
シバさんの心にある願望を実現して
グズグズになった意識を惹きつけるエサに
なって貰ったわけですよ☆

シバさん、口では宇宙を破滅させるだなんだって
いってましたけど、一番の望みは生きたまま
アレから離れる事でしたからねー♪
ハリエツトさんもアレに喰われてあそこから
二度と出られなくなっちゃったけど戦いに犠牲は
付き物！って事で☆他の作戦メンバーは
脱出済みだし良いかなって☆

なるほど…
しかし、何故貴女はその存在や
性質をご存知なのですか？
ここまで具現化できる程に…

ん！？

あ、えーっと……予測ですよ！予測！
ほら、シャオさんの演算能力がぐーんと
上がったから、ちょーっと拝借して
予測したらあんな感じに、ね☆

そんな事はもう良いだろうカスラ。
こうしてシバを封印出来たのは
カリンだけの功績じゃない。
アークスの今までの戦闘データや
地球の協力者の助力があってこそさ

そう。これは僕らアークスと
宇宙に生きる者全ての絆の勝利なんだ。

んー、それはどうでしょうねー☆
彼我の戦力差やフォトンの質を考えると
向こうがその気になれば施設の破壊も
混乱に乗じて人質を連れ出すことも十分に出来た
はずなんですよねー♪

……

にも関わらず、どうして自分から
異にハマるような事をしたんでしょーねー☆
誠意を見せる為？だとしたら今度は何で？…もしかして
本当に和平を結ぶつもりだったのかも！
ま、もう手遅れですけどね♪
あははー☆

ハハハ。
彼女はそんな生優しい存在ではないし
そんな心変わりをする理由も生まれ得ない
考察の一つとしては面白いけどね

そうですね☆あははー♪

































































タタカッテ

闘つてー♪



1200 曲くらいなので
ほぼ4日ですね
私はまだいけますよ

あーっ、歌ったね！
クーナちゃん！
休憩は挟んでたけど
もう4日くらい経ってるのかな？

バサッ

凄い！
さすがアイドルだね！

頑張って私達に合わせて
くれてましたけど
大分疲れてましたから…

それにしても
シバちゃん遅いね…
そろそろまた3人で
歌いたいなあ

そうだね…
でも、フォトナーの本拠地で
こんな風に遊べる日が来るなんて
夢にもおもわなかったなあ

それは…マトイさんのお陰です
あのシバ…シバさんとの対話と…
和解を成功させたんですから

それならクーナちゃんのお陰だよ
クーナちゃんが呼び掛け続けて
くれたから、自分を取り戻せた
んだもん

そ、そうですね？
あはは…

気持ち良すぎて
声に出たただけだけど…

それに、シバちゃんと繋がってる間
心の底にあった仲間への想いや
自分の中の原初の闇への恐怖が
ずっと流れてきてたから…
こんな感情を持てる相手なら
最初は価値観が違っても
きっと分かり合えるって
思ったの

そう思ったら、戦ったり
拒絶する前に、伝える事が
たくさんある気がして…

私はとてもそんな風に
思えませんでした…

彼女をそこまで理解できたのは
一度は深遠なる闇になった
マトイさんだからこそ
だったのかも知れませんが…

次のアークスとの
接触時には停戦の申し出を
してくれる事になって
本当に良かったです

うん！

それだけじゃありません
私も少し口を挟みましたけど
講和受け入れの見返りとして

今までの交戦での戦死者に対する補償
破壊された戦艦や設備の補充
各分野でフォトナーの先進技術の提供
今後の平和維持活動への全面協力
これだけの事を約束してくれました

文明レベルの差で生産力が
段違いと言っても、戦争に負けた側が
無理やり強いられるような内容なのに…
彼女の器量の大きさには正直驚きました

クーナちゃん凄い！
そんな難しい話してたの！？

陰謀メカネの命令
諜報部の仕事で地球の戦争史における
終戦協定の内容なんかも勉強してましたから

きっと他の関係ない事に使うつもりで
やらせてたんだと思いますけどね
将来的な地球への侵略とか

あはは…まさか…

でも、それもマトイさんの行動あってですよ
アークスはずっと戦う事でしか物事を前に
進められなかったけど、マトイさんは
初めて違う道を照らしたんです

まさか「ガーディアン守護輝士」ですよね

それはね…
多分「あの人」が居なくなっただからだよ

あの人…もう一人の
守護輝士ですよね？
開戦直後に失踪した…
どういう意味ですか…？

いつだったかなあ…
いきなり言われたんだ
「お前にもこのゲームにも飽きたから他にいく」って

最初は何かの冗談だと思ってたけど
何ヶ月も一緒に任務は行かなくなったし
緊急事態でも来てくれない日々が続いて…
ある日ふと「こういう事だったんだ」って…
言ってた事の意味がわかったの

でも、何日も泣き続けて「何でもござれ」って考えてたら、私はずっとあの人の力に頼ってきただけだったなって気付いたの



もしあの人が頼りっぱなしの私に疲れちゃったんだとしたらこれからは同じやり方や考え方はダメなんだって思って…
だからシバちゃんの事も戦って倒す以外の方法を選んでみたくなって…

ヴァルナさんやミトラちゃんが、シバちゃんの為に真剣に戦う姿を見てたら色々と思いついたりなんかもしちゃったり…

ごめんね
急に何言ってるんだろ、わたし…



そんな…大丈夫です

私なんか話してくれてありがとうございます

私は何も出来なかったけど今話を聞く事で少しでもマトイさんの気持ちに安らぐなら嬉しいです

お礼を言うのはこっちだよさっきも言ったけどクーナちゃんが来てくれなかったらシバちゃんとお話すること自体できなかったもん



それなら…良かったです

この事は二人だけの秘密にしてね誰にも話さないから…

え？そうなんですか？



シヤオさんや総司令には話しても良さそうですけど…それならどうして私に？

そ、それはね…

だって今は、クーナちゃんがわたしの一番大切な人だから…

自分が消えちゃう事も構わずにわたしのことを助けに来てくれたの本当に嬉しかった…!!



え？



クーナちゃんは情報部だから
知ってるよね...?
わたしが、どっちでも良いって...

いや、知らないですけど...!

ずっとそうだったらいいなって
思ってしまった...でも
マトイさんには私なんかじゃ
釣り合わない...です

そんなの関係ないよ...!
ずっと...一緒にいようね
クーナちゃん...

マトイ...さんっ
私っ!

お楽しみのところ申し訳ありません
御客人
我が主のことで
急ぎお伝えしたい事が
あって参りました...

シュイン

どうかお二人の力を
お貸し下さい...!

ETDクエスト
おわり